

施策項目 1 2 コミュニケーション能力の育成

【評価結果】 【担当課：学力向上推進課（生徒指導・学校安全課）】



担当課HP

総合評価	進展あり
-------------	-------------

定量評価 [指標]	C
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	0	1	1
	d評価となった指標	①			

定性評価 [施策]	進展あり
------------------	-------------

全国学力・学習状況調査の結果から、自分の考えを筋道を立てて説明することなどの思考・判断・表現に課題が見られることから、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善を図ってきたが、1人1台端末やクラウドサービスなどICTを活用した更なる授業改善を進め、個別最適な学びと協働的な学びがより一層充実するよう、好事例の普及などICT活用の理解を促進することが必要。また、「高校生ステップアップ・プログラム」「どさんこ子ども地区会議」などの取組も実施しており、各学校における人間関係づくりの支援やコミュニケーション能力の育成が図られるなど、施策の進展が見られる。

【施策の推進状況】

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1)言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるため、言語活動の改善・充実が必要 <p>(2)コミュニケーション能力を高める学習活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの認知件数及び不登校児童生徒数は、中学校第1学年で大きく増加しており、小・中学校が連携した中1ギャップ問題の未然防止に向けた校内体制の整備や課題解決に向けた取組等の一層の充実が必要 ・生徒指導・不登校等生徒指導上の諸課題に対応するため、各学校において、人間関係づくりの支援やコミュニケーション能力の育成を図る取組について、一層の充実が必要 ・いじめに対する意識の醸成を図るため、児童生徒一人一人がいじめの問題を自分のこととして捉え、考え、議論する活動の充実が必要
----------------	--

(1)言語活動の充実	
[P]	<p>①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育課程編成協議会の実施</p> <p>①・令和4年度教育課程編成の手引の配付 ・教員等を対象とした「教育課程編成協議会」において、新学習指導要領の趣旨等を踏まえた適切な教育課程の編成・実施 ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けて、協議を実施（年1回オンライン）</p>
[A]	<p>①児童生徒に必要な資質・能力の育成を図るため、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けた研修内容や普及方法の一層の改善</p> <p>①・自分の考えを筋道を立てて説明することなどの思考・判断・表現に関し課題があることから、課題を意識した各学校における授業改善が必要 ・各学校において、学習指導要領を踏まえ、ICTを活用するなどした個別最適な学びと協働的な学びを一体的に捉えた一層の授業改善がなされるよう「教育課程編成の手引」や全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書の活用を促す取組が必要</p>

(2)コミュニケーション能力を高める学習活動の充実	
[P]	<p>①児童生徒のより良い人間関係を形成する力やコミュニケーション能力の育成に向け、学習と生徒指導を関連付けた教育活動を推進</p> <p>②児童生徒のコミュニケーション能力の育成に向け、児童生徒自らいじめの防止に取り組む活動を推進</p> <p>①「中1ギャップ問題未然防止事業」（15中学校区）、「高校生ステップアップ・プログラム」（23校）の実施 全道・各管内での運営協議会等において事業指定校における取組について情報共有し、指定校の取組の改善充実を図るとともに、取組内容及び結果をまとめた成果資料を作成し、Web等で周知</p> <p>②「児童生徒仲よしコミュニケーション活動奨励事業どさんこ子ども地区会議」の実施（9～12月 14管内で実施） ・各管内において、域内の児童生徒を対象とした「どさんこ子ども地区会議」を実施し、いじめの防止に向けた協議を実施するとともに、各管内の取組内容及び結果をまとめた成果資料を作成し、Web等で周知</p>
[A]	<p>①市町村教育委員会職員及び生徒指導担当指導主事を対象とした協議会の内容等の見直し・改善</p> <p>②どさんこ地区会議の実施方法、範囲、内容、回数等の工夫・改善</p> <p>①コミュニケーション活動の充実を含めたいじめ等の未然防止の取組は、PDCAサイクルに基づく取組を改善していくことが重要であるため、各種研修会や学校訪問等において成果資料等を活用し、調査結果を踏まえた説明や学校の実態等に応じた指導助言を継続していくことが必要</p> <p>②全ての管内で「どさんこ子ども地区会議」等を実施しているが、取組が形骸化しないよう内容等の見直しが必要</p>

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施 主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象	
		実績値（下段）												
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)							
① 「学級の友達と(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29)		73.2	79.8	-	93.0	100	80.3%	c	全国学力・学習状況調査	文科省	R4.4.19	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
		66.4	66.4	77.3	72.3	(76.6)	78.8	80.3						
	中	(H29)		71.0	78.2	-	92.6	100	78.0%	d				
		63.7	63.7	75.0	70.9	(79.8)	76.3	78.0						
② 「授業では、学級の友達と(生徒)の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29)		-	-	-	90.0	100	-	-	全国学力・学習状況調査	文科省	R3年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
		83.3	83.3	-	-	(85.2)	-	-						
	中	(H29)		-	-	-	90.0	100	-	-				
		78.9	78.9	-	-	(85.6)	-	-						
③ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、(外国語活動、)総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか」という質問に対して、「よくしている」と回答した学校の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29)		54.2	65.6	-	77.1	100	-	-	全国学力・学習状況調査	文科省	R4年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
		42.7	42.7	45.9	57.8	-	54.6	-						
	中	(H29)		52.9	64.7	-	76.5	100	-	-				
		41.1	41.1	41.6	49.3	-	51.1	-						
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		C							
	0	0	1	1										
新型コロナウイルスの影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組														
d評価に対する今後の取組	① ICTを効果的に活用するなどし、主体的・対話的で深い学びの実現に向け組織的に取り組みを進める。													